

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組03	安全で健康的な住宅の整備
②対応する目標・課題	【超高齢化対応】(地域の介護・福祉) 健康住宅の整備による疾病・怪我の抑制	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標04: 国民健康保険加入者ひとりあたり年間医療費	■目標値: 241,682円(H22決算)→217,513円(H28見込み) ※10%の削減を目指す
④取組内容	<p>健康住宅の整備による疾病・怪我の抑制を図るため、下記の取り組みを実施する。</p> <p>健康住宅(スマートハウス、プラスエネルギー住宅)を市内で普及していくにあたり、東松島地域型モデルハウスを整備、活動拠点として活用し、家づくりに関するワークショップ等の普及啓発活動を実施する。モデルハウスに関しては、市内工務店関係者と連携し、東松島市の気候特性に見合った健康住宅の仕様を設定し、市内における死亡要因の特徴である脳血管疾病の抑制による社会保障費の削減を目指すもの。同時に、人口減少社会において、新築件数が減少することが見込まれるが、反面、市場の拡大が見込まれるリフォーム市場とリフォームニーズ(高気密、高断熱、低炭素)に見合った施工技術の地域内ストックにも取り組む。</p>	
⑤エリア	市内全域	
⑥主体	東松島みらいとし機構(くらし部会)及び同団体会員、東松島市、市内工務店関係者	
⑦活用した国等の制度	少子高齢化・環境対応等復興モデル事業補助金(内閣府) 復興交付金(復興庁)	
⑧地域の関与	東松島みらいとし機構をコアとした地元企業との連携 市内におけるエネルギー消費量の約25%を占める家庭部門における省エネルギー化の促進	
⑨スケジュール		
23年度	—	
24年度	一般社団法人東松島みらいとし機構の設立	
25年度	事業計画の検討、普及啓発活動	
26年度	市におけるスマートハウス基準検討、モデルハウス建設、普及展開の方法検討	
27年度	普及啓発活動の展開	
28年度	普及啓発活動の展開	
29年度以降		
⑩他の取組との連携	取組名: 1. MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想の実施 連携内容: 「地域分散型電源整備事業」などと連携し、太陽光発電や地域分散電源の設置を検討。 取組名: 2. ネット・ゼロ・エネルギー・シティの実現 連携内容: プラスエネルギーハウス・健康住宅の普及により、炭酸ガス排出削減と健康推進を同時に進める。 取組名: 4. 安全で健康的な住環境の整備 連携内容: 「木質利用推進都市検討事業」と連携し、木質利用 取組名: 5. 地域住民相互の高齢者介護・見守り体制の構築等による地域コミュニティの再生、活性化 連携内容: 「コレクティブハウス整備事業」との連動	
⑪自立・自律の方針・目標	一般社団法人東松島みらいとし機構のマネジメントのもと、所属会員により構成され各個別の取り組みを担う「事業会」単位で、自立・自律することを計画のうちに含めつつ、全体事業計画を定めていく。	